

## 「出題の意図」

選抜区分	2024年度（選抜区分：総合型選抜） 外国語学部 国際関係学科（科目名：1次選考小論文、2次選考集団 討論・面接）
出題の意図 (評価のポイント)	<p>1次選考（小論文）</p> <p>2020年代、コロナ禍とウクライナ戦争によって脱炭素化に向けた取り組みが影響を受けたことを問うた。受験生の理解を確かめるとともに、望ましい環境政策を考えさせる問題である。課題文をよく読み、生活の豊かさや環境保全をいかに両立させるか、自分の意見を論理的に述べることができたかどうか、小論文作成のポイントとなる。</p> <p>評価にあたっては、以下の点を重視した。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 問いの趣旨を正確に理解しているか。</li><li>・ 問いに関連する基礎的な知識をもっているか。</li><li>・ 解答の記述にあたって、適切な論理展開ができているか。</li><li>・ 解答の趣旨が明快で、適切な文章表現ができているか。</li><li>・ 誤字や脱字はないか、日本語として間違った文を書いていないか。</li></ul> <p>2次選考（集団討論）</p> <p>集団討論では、環境政策と経済成長政策の関係について1次選考の小論文で表明した立場と異なって構わないという条件で議論してもらった。評価の対象とするのは、グループとしての結論をまとめて発表するまでのプロセスである。討論においては、次の三点に注目した。自分の主張をわかりやすく他人に伝えること、他人の意見を聞いて的確に応答すること、意見をまとめること、である。これらの作業において、どのような貢献をしたのかを評価した。</p> <p>2次選考（個人面接）</p> <p>全員に対して同じ質問を行った。集団討論の振り返り、志望動機、入学後の学びの見通しとその準備状況について受験生自身の言葉で表明してもらった。面接では、国際関係学科の理念と教育目的を理解しているのか、学科への適性はどうかについて確認し、入学後の学習計画とそれに向けた取り組みについて受験生の考えを聞いた。これらを総合的に判断して評価した。</p>